

# 「子どもたちがスポーツできる場所の充実」

【具体的な取組】：学校体育施設開放事業充実の検討



## 審議案件

・富士見ガーデンビーチ閉園後の「学校プールの開放」のあり方について

## 具体的な取組の概要

### ▶ 学校プール開放運營業務委託

#### ○目的

・富士見ガーデンビーチ閉園後の暫定的な代替策として、夏季における子供を中心とした「スポーツができる場所の充実」、「レクリエーションの場」として小学校プールを開放するもの。

○運営委託業者：(株)フクシ・エンタープライズ 埼玉支店

#### ○利用者数

学校名	R4開放期間	R4利用者数	R5 開放期間	R 5 利用者数	増減
勝瀬小学校	7/26～7/31	491	8/15～8/20	306	△185
関沢小学校	8/2～8/7	495	8/8～8/13	327	△168
諏訪小学校	8/9～8/14	412	8/1～8/6	710	+298
みずほ台小学校	8/16～8/21	279	7/25～7/30	634	+355
合 計		1,677		1,977	+300

#### ○その他

・令和4年度から開始した事業である。  
・安全性を考慮し、未就学児は利用不可としている。

## 成果

・令和4年度は、1,677人の市民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することができた。

## 令和6年度予算

・学校プール開放運營業務委託：592万9千円

## 課題・分析

・引き続き、現在の体制（今の4小学校）で実施すべきか。  
・未就学児への開放について検討すべきかどうか。

# 「学習の支援」

【具体的な取組】：家庭学習応援事業の実施

## 審議案件

・家庭学習応援事業について



## 具体的な取組の概要

▶ 小学生サタデースクール☆ふじみ、中学生イブニングスクール☆ふじみ

### ○目的

- ・児童・生徒が主体的に家庭学習に取り組めるように支援を行うもの。
- ・家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。

### ○令和4年度の実施内容

	小学生サタデースクール☆ふじみ	中学生イブニングスクール☆ふじみ
対 象	市内在住・在学の小学5・6年生	市内在住・在学の中学3年生
会 場	鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター	鶴瀬公民館、水谷公民館
参加人数	5年生：52人 6年生：57人	3年生：61人
開催日時	5年生 土曜日 AM 9：30～10：30 6年生 土曜日 AM10：50～11：50	鶴瀬公民館 火・木曜日 PM6：30～8：00 水谷公民館 水・金曜日 PM6：30～8：00
内 容	算数の学習（30回） 5～8人に対し講師1人	英語・数学の学習（各33回） 4～7人に対し講師1人
参加費	3,500円（教材費・保険料）	5,500円／1教科（教材費・保険料）

## 成果

- ・家庭学習時間の増加（30分以上の家庭学習時間の割合 中3：55%→85%）  
→ 基礎学力の向上につながっている。

## 令和6年度予算

- ・家庭学習応援事業委託：1,354万4千円

## 課題・分析

- ・学年により申込者数の偏りがあり、定員に満たない学年があった。
- ・学校以外の学習を市として実施していく必要があるか。

# 「放置自転車の抑制」

【具体的な取組】：放置自転車等の指導・整理員による指導・整理



## 審議案件

・駅前の「放置自転車対策」について

## 具体的な取組の概要

### ▶ 駅前自転車の整理及び管理

○概 容：鶴瀬駅、みずほ台駅、ふじみ野駅前の放置自転車等の指導・整理などを委託で実施。

○委託先：(社)富士見市シルバー人材センター

○実施内容

平日：午前7時から午後1時、日・祝日：午前8時半から午後1時を基本として毎日(※)実施

※駐輪場によって異なる。

○現 状

・令和元年度実績と比較し、放置自転車の台数が半減（R1：21,141台 → R4：10,644台）している。

・放置自転車・違法駐車対策の推進の満足度が上昇しており、目標値を達成している。

（R1：59.5% → R3：70.7%）参考：R7目標値65.0%

【参考】：放置自転車の台数の推移（行政評価シートより）

（単位：台数/年）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7（目標値）
台数	21,141	14,160	11,647	10,644	—	—	21,000

## 成果

- ・放置自転車台数の減少
- ・対策推進の満足度の上昇

## 令和6年度予算

・駅前自転車整理及び管理委託：3,982万円

## 課題・分析

- ・買い物等の短時間利用については、駐輪場を利用しないため放置自転車となりやすい。
- ・台数の減少、満足度の向上が一定程度達成できている現状に対し、同内容で継続していく必要があるか。